

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年03月23日

計画の名称	賑わいを創出するスポーツ交流拠点の整備													
計画の期間	令和03年度 ～ 令和06年度（4年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	藤枝市													
計画の目標	本市は、第6次藤枝市総合計画において、サッカーを重要な観光資源として位置づけ、サッカーを核としたスポーツや文化、伝統を活用したまちづくり「蹴球都市ふじえだ」の実現を目指している。 本整備により、利用者の快適性及びスポーツを通じて更なる交流人口の拡大を図り、地域経済への波及効果を創出する。 併せて、藤枝市地域防災計画で防災拠点として位置づけられている本公園の防災機能を強化していく。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,410	A	1,410	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3.11末		R7.3以降
1	既存施設の改修により藤枝総合運動公園の年間来園者数の増加を図る。 藤枝総合運動公園の年間来園者数を224,000人から400,000人にする。	224000人	人	400000人
2	既存施設の改修により物資受入機能の向上を図る。 物資備蓄数量を27,500食から110,000食に増加する。	27500食	食	110000食

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	藤枝市	直接	藤枝市	－	－	都市公園事業（総合運動公園サッカー場改修事業）	スポーツ交流拠点となる公園施設の改修	藤枝市	■	■	■	■		1,410	2.83	策定済	
												小計					1,410			
												合計						1,410		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

社会資本総合整備計画評価委員会にて評価を実施

事後評価の実施時期

令和7年度（令和8年3月）

公表の方法

藤枝市ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

「サッカーのまち」として100年の歴史を誇る本市の重要な拠点施設であるサッカー場の改修事業を実施したことにより、サッカー専用スタジアムとしての魅力がより一層高まり、Jリーグをはじめ各種サッカー大会やイベントの開催など、スポーツを通じた賑わいの創出と交流拠点としての機能性の向上が図られた。併せて、物資備蓄容量が増加し、防災拠点としての機能向上も図られた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

高圧受変電設備の改修により園内の高圧送電網の強化が図られ、非常時における電源の確保や避難者・広域援助隊等への円滑な情報伝達手段の確保など、大規模災害時における本市の総合的な防災拠点としての機能強化を図ることができた。

○特記事項（今後の方針等）

藤枝市ゆかりの元サッカー選手によるイベントや、サッカーをはじめとした大会運営ノウハウなど、本市ならではの人材・資源等を活かした各種イベント・大会等の開催を通じて、スポーツ交流拠点としての活用を推進し、更なる賑わいの創出を図るとともに、交流人口の拡大と地域経済への波及を目指す。併せて、大規模災害時における本市の総合的な防災拠点となる藤枝総合運動公園の防災機能の維持・強化に継続的に取り組んでいく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	事業実施状況をもとに算出する。		
	最 終 目標値	400000人	計画初期に蔓延していた新型コロナウイルスの影響が終息し、また当該公園をホームスタジアムとする地元クラブ「藤枝MYFC」が令和5年度よりJ2昇格を果たし、アウェイサポーターの来訪も含め観客増加への機運が高まる中で屋根付き観客席が完成し、収容人数が大幅に増加したため、目標を大きく上回る来園者を呼び込む結果となった。
	最 終 実績値	479153人	
2	事業実施状況をもとに算出する。		
	最 終 目標値	110000食	サッカー場バックスタンドに防災備蓄倉庫(A=70m2)を整備したことにより、物資備蓄容量が大幅に増加し、食料11万食の備蓄が可能となった。
	最 終 実績値	110000食	